

First Hit

L6: Entry 6 of 12

File: JPAB

May 31, 2002

PUB-NO: JP02002157537A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002157537 A  
TITLE: METHOD AND SYSTEM FOR SETTLING PRICE

PUBN-DATE: May 31, 2002

## INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

KONDO, HIROYUKI

## ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

HITACHI LTD

APPL-NO: JP2000355442

APPL-DATE: November 22, 2000

INT-CL (IPC): G06 F 17/60; H04 M 11/00

## ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To perform settlement confirmation processing by telephone in accordance with the convenience of a user side while acquiring security by utilizing telephone for the authentication of a credit card in the case of performing Internet shopping by using the credit card.

SOLUTION: A telephone used to inquire settlement approval is designated among one, two or more telephone numbers that are preliminarily registered in a credit card company by the user to inquire credit card payment approval when the user does shopping. An Internet shop transmits the information of a settlement request and information for specifying the telephone to be used for inquiry to the credit card company, and the credit card company connects a telephone to the telephone desired by the user at his/her desired time/time period to request the user to input person himself/herself identification information from the telephone. Thus, the credit card company confirms the user himself/herself and performs settlement confirmation.

COPYRIGHT: (C) 2002, JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-157537

(P2002-157537A)

(43)公開日 平成14年5月31日(2002.5.31)

(51)IntCl <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード(参考)
G 0 6 F 17/60	4 1 4	G 0 6 F 17/60	4 1 4 5 K 1 0 1
	Z E C		Z E C
	3 1 0		3 1 0 E
	5 0 2		5 0 2
	5 0 6		5 0 6

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 10 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2000-355442(P2000-355442)

(22)出願日 平成12年11月22日(2000.11.22)

(71)出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72)発明者 近藤 弘幸

神奈川県横浜市中区戸塚区戸塚町5030番地 株式会社日立製作所ソフトウェア事業部内

(74)代理人 100096954

弁理士 矢島 保夫

Fターム(参考) 5K101 KK17 LL01 LL05 MM07 NN18

NN18 NN21 PP04 RR12 UU03

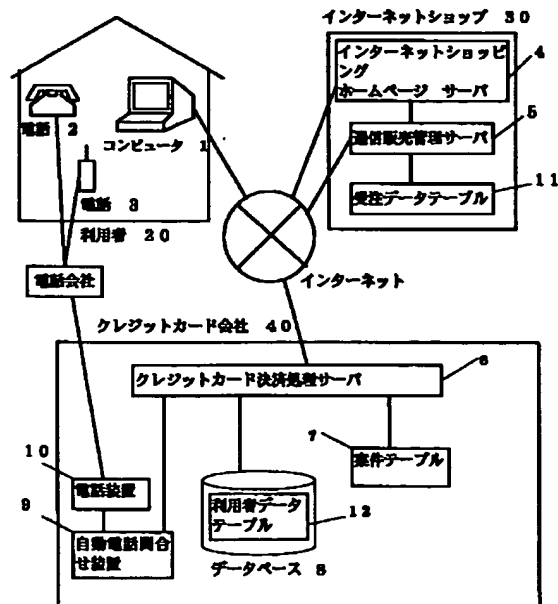
VV07

(54)【発明の名称】 代金決済方法およびシステム

## (57)【要約】

【課題】クレジットカードを使用してインターネットショッピングを行う場合、そのクレジットカードの認証に電話を利用することで、安全性を確保しながら、かつ利用者側の都合に合わせて、電話による決済確認処理が行えるようにすることを目的とする。

【解決手段】買い物を行うとき、事前に利用者がクレジットカード会社に対して1つまたは2つ以上登録しておいたクレジットカード決済承認の問合せ先電話番号から、決済承認の問合せに使用する電話を指定する。インターネットショップから、クレジットカード会社に対して、決済要求の情報と問合せに使用する電話を特定する情報を連絡し、クレジットカード会社は、利用者が希望した電話に対して、希望した時刻・時間帯に電話を接続し、本人識別情報を電話から入力してもらう。これにより、クレジットカード会社が利用者本人であることを確認し、決済確認を行う。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】クレジットカードを使用してインターネットショッピングを行う場合の代金決済方法であって、予めクレジットカード会社に対して利用者のクレジットカード決済確認用の問合せ先電話番号を登録しておくステップと、

前記利用者がインターネットショップでクレジットカード決済でインターネットショッピングを行ったとき、該インターネットショップからクレジットカード会社に該ショッピングに関する決済要求を送るステップと、  
10 該決済要求を受けたクレジットカード会社から、前記利用者の問合せ先電話番号の電話に電話をかけ、前記利用者による本人識別情報の入力を受け付けるステップと、入力された本人識別情報が前記利用者本人のものであるかを確認することにより決済確認するステップとを備えたことを特徴とする代金決済方法。

【請求項2】クレジットカードを使用してインターネットショッピングを行う場合の代金決済方法であって、予めクレジットカード会社に対して利用者のクレジットカード決済確認用の問合せ先電話番号を複数登録しておくステップと、

前記利用者がインターネットショップでクレジットカード決済でインターネットショッピングを行ったとき、該インターネットショップからクレジットカード会社に、前記複数の問合せ先電話番号のうちで前記利用者が指定した決済確認を行う電話番号情報を含む決済要求を送るステップと、  
20 該決済要求を受けたクレジットカード会社から、前記指定された利用者の問合せ先電話番号の電話に電話をかけ、前記利用者による本人識別情報の入力を受け付けるステップと、入力された本人識別情報が前記利用者本人のものであるかを確認することにより決済確認するステップとを備えたことを特徴とする代金決済方法。

【請求項3】クレジットカードを使用してインターネットショッピングを行う場合の代金決済方法であって、予めクレジットカード会社に対して利用者のクレジットカード決済確認用の問合せ先電話番号を複数登録しておくステップと、

前記利用者がインターネットショップでクレジットカード決済でインターネットショッピングを行ったとき、該インターネットショップからクレジットカード会社に、前記複数の問合せ先電話番号のうちで前記利用者が指定した決済確認を行う電話番号情報を含む決済要求を送るステップと、

該決済要求を受けたクレジットカード会社から、前記指定された利用者の問合せ先電話番号の電話に電話をかけ、自動音声により決済要求内容および本人識別情報の入力を促すメッセージを利用者に伝えるステップと、  
前記利用者による前記決済の承認または非承認の指示を

受け付けるステップと、

入力された承認または非承認の指示に応じて前記決済の実行または破棄を行い、該実行・破棄の結果を前記クレジットカード会社から前記インターネットショップに送信するステップとを備えたことを特徴とする代金決済方法。

【請求項4】請求項2または3に記載の代金決済方法において、

前記利用者が指定した決済確認を行う電話番号が複数あり、前記クレジットカード会社から該電話番号に電話をかける際、1つ目の電話番号が接続不可の場合は、2つ目以降の電話番号に電話をかけて問合せを行うことを特徴とする代金決済方法。

【請求項5】請求項1から4の何れか1つに記載の代金決済方法において、

利用者がインターネットショッピングを行うとき、前記クレジットカード会社に登録してある決済確認用の電話毎に、該問合せを受ける時刻または時間帯を指定し、前記クレジットカード会社からの問合せは該指定された時刻または時間帯に行うことを特徴とする代金決済方法。

【請求項6】クレジットカードを使用してインターネットショッピングを行う場合の代金決済システムであって、

クレジットカード会社において、予め利用者のクレジットカード決済確認用の問合せ先電話番号を複数登録しておく手段と、

前記利用者がインターネットショップでクレジットカード決済でインターネットショッピングを行ったとき、該インターネットショップからクレジットカード会社に、前記複数の問合せ先電話番号のうちで前記利用者が指定した決済確認を行う電話番号情報を含む決済要求を送信する手段と、

該決済要求を受けたクレジットカード会社から、前記指定された利用者の問合せ先電話番号の電話に電話をかけ、前記利用者による本人識別情報の入力を受け付ける手段と、

入力された本人識別情報が前記利用者本人のものであるか否かを確認する手段とを備えたことを特徴とする代金決済システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットショッピングにおいて、クレジットカード等による代金決済を行う場合の代金決済の承認の認証を行う代金決済方法およびシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】インターネットショッピングでは、インターネットが使用できる環境があれば、どこからでも自由に接続して商品の購入が可能となっている。このため、クレジットカードによる決済を行う場合、インター

ネットショップ毎に通販申込者が利用者本人であるのかを確認する必要がある、別途暗証番号を設けるなどして、利用者本人の申し込みであるのかを確認している。しかし、悪意ある第三者に盗聴・解析され暗証番号等が知られてしまった場合、インターネットがどこからでも自由に使用できるため、利用者元が物理的に特定できず、暗証番号さえ正しければ利用者本人であると判断するしかない。

【0003】この対策として、クレジットカード会社から利用者に対してあらかじめ登録しておいた電話に対して電話をかけることにより、暗証番号等の本人確認を行う方法がある。これは、本人確認のために使用する装置である電話機を限定し、その限定された電話機から、利用者本人であることを認証する暗証番号等により利用者本人であることを確認して、決済内容についての承認確認を行う方法である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】利用者本人の指定した電話機から利用者本人を示す暗証番号等を確認することにより、第三者が介入する機会がなくなり、安全にクレジットカードの認証が行える。しかし、インターネットショッピングでは、夜間でも全て即時処理を実現していたり、注文だけは先に受け付けて営業時間内に担当者が纏めて決済処理するなどしているため、実際にクレジットカード決済要求する時刻がショップの都合により異なっている。このような場合、インターネットショップの都合により、クレジットカード会社に対して決済要求が発生してしまい、利用者に対する決済確認のための電話が利用者の都合とは関係なく発生することになり、不便であった。

【0005】本発明の目的は、クレジットカードの認証に電話を利用することで安全性を確保しながら、インターネットショッピングの場合において、利用者側の都合に合わせて、決済処理が行えるようにすることにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明は、クレジットカードを使用してインターネットショッピングを行う場合の代金決済方法であって、予めクレジットカード会社に対して利用者のクレジットカード決済確認用の問合せ先電話番号を登録しておくステップと、前記利用者がインターネットショップでクレジットカード決済でインターネットショッピングを行ったとき、該インターネットショップからクレジットカード会社に該ショッピングに関する決済要求を送るステップと、該決済要求を受けたクレジットカード会社から、前記利用者の問合せ先電話番号の電話に電話をかけ、前記利用者による本人識別情報の入力を受け付けるステップと、入力された本人識別情報が前記利用者本人のものであるかを確認することにより決済確認するステップとを備えたことを特徴とする。

10

【0007】また本発明は、クレジットカードを使用してインターネットショッピングを行う場合の代金決済方法であって、予めクレジットカード会社に対して利用者のクレジットカード決済確認用の問合せ先電話番号を複数登録しておくステップと、前記利用者がインターネットショップでクレジットカード決済でインターネットショッピングを行ったとき、該インターネットショップからクレジットカード会社に、前記複数の問合せ先電話番号のうち前記利用者が指定した決済確認を行う電話番号情報を含む決済要求を送るステップと、該決済要求を受けたクレジットカード会社から、前記指定された利用者の問合せ先電話番号の電話に電話をかけ、前記利用者による本人識別情報の入力を受け付けるステップと、入力された本人識別情報が前記利用者本人のものであるかを確認することにより決済確認するステップとを備えたことを特徴とする。

20

【0008】また本発明は、クレジットカードを使用してインターネットショッピングを行う場合の代金決済方法であって、予めクレジットカード会社に対して利用者のクレジットカード決済確認用の問合せ先電話番号を複数登録しておくステップと、前記利用者がインターネットショップでクレジットカード決済でインターネットショッピングを行ったとき、該インターネットショップからクレジットカード会社に、前記複数の問合せ先電話番号のうち前記利用者が指定した決済確認を行う電話番号情報を含む決済要求を送るステップと、該決済要求を受けたクレジットカード会社から、前記指定された利用者の問合せ先電話番号の電話に電話をかけ、自動音声により決済要求内容および本人識別情報の入力を促すメッセージを利用者に伝えるステップと、前記利用者による前記決済の承認または非承認の指示を受け付けるステップと、入力された承認または非承認の指示に応じて前記決済の実行または破棄を行い、該実行・破棄の結果を前記クレジットカード会社から前記インターネットショップに送信するステップとを備えたことを特徴とする。

30

【0009】また本発明は、上述の代金決済方法において、前記利用者が指定した決済確認を行う電話番号が複数あり、前記クレジットカード会社から該電話番号に電話をかける際、1つ目の電話番号が接続不可の場合は、2つ目以降の電話番号に電話をかけて問合せを行うことを特徴とする。

40

【0010】また本発明は、上述の代金決済方法において、利用者がインターネットショッピングを行うとき、前記クレジットカード会社に登録してある決済確認用の電話毎に、該問合せを受ける時刻または時間帯を指定し、前記クレジットカード会社からの問合せは該指定された時刻または時間帯に行うことを特徴とする。

50

【0011】さらに本発明は、クレジットカードを使用してインターネットショッピングを行う場合の代金決済システムであって、クレジットカード会社において、予

め利用者のクレジットカード決済確認用の問合せ先電話番号を複数登録しておく手段と、前記利用者がインターネットショップでクレジットカード決済でインターネットショッピングを行ったとき、該インターネットショップからクレジットカード会社に、前記複数の問合せ先電話番号のうちで前記利用者が指定した決済確認を行う電話番号情報を含む決済要求を送信する手段と、該決済要求を受けたクレジットカード会社から、前記指定された利用者の問合せ先電話番号の電話に電話をかけ、前記利用者による本人識別情報の入力を受け付ける手段と、入力された本人識別情報が前記利用者本人のものであるか否かを確認する手段とを備えたことを特徴とする。

【0012】以上のように、インターネットショッピング利用者は、自分の予定に合わせて、電話のかかってくる時刻や時間帯、かかってくる電話機を選択できるようにすることで、利用者の都合に合わせて、クレジットカードの決済が行えるようにする。

【0013】

【発明の実施の形態】以下、図面を用いて、本発明の実施の形態を詳細に説明する。

【0014】図1は、本発明の一実施形態であるインターネットショッピングの利用者とインターネットショップとクレジットカード会社との構成を示すブロック図である。図1において、利用者の家20には、インターネットに接続してホームページを閲覧できるコンピュータ1が備えられ、電話2が設置されている。また、利用者が複数の電話を所有する場合、電話3（ここでは、携帯電話とする）が存在する。

【0015】インターネットショップ30には、インターネットを利用したインターネットショッピングを行うホームページサーバ4と、通信販売の受注やクレジットカード会社への決済要求状況を管理するための通信販売管理サーバ5と、利用者より受注したデータを通信販売管理サーバ5で管理するための受注データテーブル11が備えられており、これらによりインターネットショップが運営されている。

【0016】クレジットカード会社40には、クレジットカード決済処理サーバ6が備えられている。このサーバ6には、利用者に対して電話をかけるための電話装置10と、電話装置10から音声メッセージを送信して利用者にメッセージを自動通知し、利用者から電話を通して送信された情報を受取る装置である自動電話問合せ装置9が接続されている。また、サーバ6には、利用者データテーブル12を管理するデータベース8と、外部からのクレジットカードによる決済要求を指定された処理時刻まで一時的に保存しておくための案件テーブル7が接続されている。

【0017】図2は、インターネットショップ30の通信販売管理サーバ5の機能ブロック図である。通信販売管理サーバ5は、注文受付処理51、決済要求制御処理

52、およびインターネット送受信機能57を備える。注文受付処理51は、インターネットショッピングホームページサーバ4からの注文を受け、受注データテーブル11に受注データを登録する処理を行う。決済要求制御処理52は、クレジットカード決済処理サーバ6に対して決済要求を発行する決済要求送信機能53、クレジットカード決済処理サーバ6からの決済結果受信機能54、決済承認された場合に商品を発注する発注指示機能55、及び決済結果を利用者に連絡する結果メール送信機能56を備えている。インターネット送受信機能57は、インターネットに対しての送受信を行う。

【0018】図3は、クレジットカード決済処理サーバ6で行う処理のうち、インターネットショップ30からの決済要求を受け付ける処理の機能ブロック図である。決済要求を受け付ける処理は、インターネット受信処理60と、決済要求受付処理61と、案件テーブル7に案件を登録する案件登録処理62を備えている。

【0019】図4は、クレジットカード決済処理サーバ6で行う処理のうち、案件テーブル7に登録された案件を取り出して処理する案件処理の機能ブロック図である。案件処理70は、データベース8を検索して利用者データテーブル12から該当する利用者データを引き出す利用者データ検索処理71と、自動電話問合せ装置9を制御して利用者に電話をかけて承認・非承認指示を受け付ける自動電話問合せ装置制御処理72と、利用者からの指示により案件をどのように扱うのかを処理する案件承認・非承認処理76と、クレジットカード決済を行う決済処理77と、決済要求がどのように処理されたのかを通信販売管理サーバ5に連絡する決済結果報告処理78を備えている。

【0020】また、自動電話問合せ装置制御処理72は、電話番号指示73と、アナウンス指示74と、利用者情報入力75を備えている。電話番号指示73は、データベース8から取得した利用者の電話番号を使って、自動電話問合せ装置9を制御して、電話装置10により電話をかける処理を行う。アナウンス指示74は、電話がかかったあとに、音声により利用者に情報を伝達することを自動電話問合せ装置9に指示する処理を行う。利用者情報入力75は、利用者が電話2または電話3を操作した情報を自動電話問合せ制御装置9経由で入力する処理を行う。また、決済結果をインターネットショップ30に連絡するためのインターネット送信処理79が存在する。

【0021】図5は、クレジットカード会社40の自動電話問合せ装置9の機能ブロック図である。自動電話問合せ装置9は、自動電話問合せ装置制御処理72からの指示を実行する制御コマンド処理80を備える。この制御コマンド処理80は、利用者に対して電話をかけることを電話装置10に指示する電話発信機能81と、音声電話装置10に送信するアナウンス機能82と、利用

者からの電話操作を受付ける受信機能83と、電話がかかったかどうか、また、かかった場合は、利用者はどのような操作を行ったのかを、利用者情報入力75に返信するための結果報告処理84とを備えている。

【0022】図6は、インターネットショップ30において利用者からの発注情報を通信販売管理サーバ5で管理するための受注データテーブル11のテーブル図である。受注データテーブル11は、利用者に対して電話による決済確認を行う時間帯の開始時刻を示す有効時刻401と、その決済確認を行う時間帯の終了時刻を示す無効時刻402と、クレジットカード会社に登録した複数の電話番号のうち、どの電話に対して問合せを行うかを指定するための情報である連絡先403と、クレジットカード番号であるカードN°404と、受注した商品の情報である注文情報405と、決済結果連絡先のメールアドレス406と、商品の発送先を示す送付先住所氏名407により構成される。

【0023】図7は、クレジットカード会社40のデータベース8内に管理されている利用者データテーブル12のテーブル図である。利用者データテーブル12は、クレジットカード番号であるカードN°420に対応する本人識別情報である暗証番号問合せ先電話番号を示す電話番号424と、本人識別のための暗証番号423により構成される。また、複数の問合せ先電話番号を登録するために、電話番号424に、連絡先1である電話番号421と、連絡先2である電話番号422が登録できる。例えば、利用者が連絡先として1を指定した場合、電話番号424の連絡先1である電話番号421に対して決済問合せが行われる。電話番号の登録の際には、例えば、連絡先1である電話番号421を自宅の電話2とし、連絡先2である電話番号422を携帯電話である電話3として、これらの連絡先が第三者に不当に変更されないように、クレジットカード会社40にクレジットカードの申し込みをするときに、申込み書に記入してデータベース8に登録してもらう。また、電話番号の変更が発生した場合は、クレジットカード会社40で、身分証明書を提示して電話番号変更を依頼する等、第三者による不当な電話番号変更を防止する。

【0024】図8は、クレジットカード会社40で管理している決済案件を登録するための案件テーブル7のテーブル図である。案件テーブル7は、利用者に対して電話による決済確認を行う時間帯の開始時刻を示す有効時刻431と、その決済確認を行う時間帯の終了時刻を示す無効時刻432と、クレジットカード会社40に登録した複数の電話番号のうち、どの電話に対して問合せを行うかを指定するための情報である連絡先433と、クレジットカード番号であるカードN°434と、インターネットショップ30から送信された決済内容を示す情報である決済情報435から構成される。

【0025】図9は、インターネットショップ30の、

通信販売管理サーバ5が行うインターネットショッピングの受注処理の流れ図である。図9の流れ図と、図1、図2のブロック図、及び図6のテーブル構成図を使用して、本実施形態における通信販売管理サーバ5の処理の流れを説明する。

【0026】利用者は、利用者の家20から、コンピュータ1を使用してインターネットショップ30のインターネットショッピングホームページサーバ4に接続し、欲しい商品をインターネット上で発注する。この処理については、既存のインターネット上のショッピングと同様の仕組みである。発注のときに、利用者は、クレジットカード番号と、本人識別情報問合せのための電話連絡の予定時刻または時間帯と、クレジットカード会社に登録した電話番号のうち、どの電話に問合せすることを希望するのかを指定する。例えば、2月1日の10:00から11:00の間（時間帯指定）に、クレジットカード会社40に連絡先2として予め登録してある連絡先の電話に決済確認のための問合せ電話がかかってくるように指定する。または、2月1日の13:00以降（時刻指定）にクレジットカード会社40に予め連絡先1として登録してある電話に決済確認のための問合せ電話がかかってくるように指定する。これにより、インターネットショッピングホームページサーバ4は、受注したデータを通信販売管理サーバ5に受け渡し、通信販売管理サーバ5の受注受付処理51は、図6の受注データテーブル11に受注データを登録することで注文を受付ける（ステップ100）。

【0027】注文を受付けた後、決済要求制御処理52の中の決済要求送信機能53がインターネット送受信機能57を使用して、クレジットカード会社40のクレジットカード決済処理サーバ6に対して、図6の受注データテーブル11のうち、メールアドレス406や送付先住所氏名407等のクレジットカード決済に不要な情報を除いた情報を連絡し、決済依頼を行う（ステップ102）。

【0028】この後、決済結果受信機能54で、クレジットカード決済処理サーバ6からの回答待ちとなる（ステップ104）。インターネット送受信機能57を通して、クレジットカード決済結果が決済結果受信機能54に連絡され、ここで決済結果の判定を行う（ステップ106）。結果が承認であるならば、発注指示機能55を使用して、商品の送付手配を行う（ステップ108）。結果が非承認であるならば、発注指示は行わない。以上の結果を、利用者に対して、結果メール送信機能56を使用して、メール連絡して（ステップ110）、通信販売管理サーバ5の1つの注文処理が終了する。

【0029】図10は、クレジットカード決済処理サーバ6がインターネットショップ30からの決済要求を受付ける処理の流れ図である。、図10の流れ図と、図1、図3のブロック図、及び図8のテーブル構成図を使

用して、本実施形態におけるクレジットカード決済処理サーバ6での決済要求受付処理の流れを説明する。

【0030】通信販売管理サーバ5から送信された決済要求は、クレジットカード決済処理サーバ6のインターネット受信処理60を介して、決済要求受付処理61で受付ける（ステップ200）。受付けた決済案件は、案件登録処理62により、受信した有効時刻401は電話をかける時刻（案件取出し時刻である有効時刻431）とし、受信した無効時刻402は決済確認を行う時間帯の終わりを示す時刻（無効時刻432）とし、受信した連絡先403は決済問合せ先の電話番号の連絡先1、2を選択するための連絡先433とし、受信したカードNo404はクレジットカード番号であるカードNo434とし、受信した注文情報405と決済要求元の店の名前は決済情報435として、それぞれ案件テーブル7に格納する（ステップ202）。

【0031】図11は、クレジットカード決済処理サーバ6が、案件テーブル7に登録されている決済要求案件を取り出して処理する流れ図である。図11の流れ図と、図1、図4、図5のブロック図、及び図7、図8のテーブル構成図を使用して、本実施形態におけるクレジットカード決済処理サーバ6での決済要求案件処理の流れを説明する。

【0032】クレジットカード決済処理サーバ6には、決済要求受付処理とは別に、クレジットカード決済処理を行う案件処理70が存在し、クレジットカードの決済処理を行っている。まず案件テーブル7に処理してもよい時刻に達している案件があるか否か、すなわち現在時刻が有効時刻431を過ぎている案件があるか否かを検索し（ステップ302）、そのような案件があるならばその案件を引き出して案件処理を開始する。そのような案件が無ければ、ステップ304からステップ302に戻って監視処理を続ける。

【0033】処理する案件が存在する場合は、利用者データ検索処理71により、その案件のクレジットカード番号であるカードNo434と、連絡先433を元に、データベース8の利用者データテーブル12内のカードNo420を検索して、対応する電話番号421または422を求める。電話番号は、連絡先433が1である場合は、電話番号の連絡先1である421を選択し、連絡先433が2である場合は、電話番号の連絡先2である422を選択する。その後、自動電話問合せ装置制御処理72及び電話番号指示73により、求めた連絡先に対して、電話をかける。電話番号指示73により自動電話問合せ装置9に対してコマンドを発行すると、自動電話問合せ装置9は、制御コマンド処理80及び電話発信機能81により、電話装置10を使用して、指示された連絡先すなわち利用者が登録した電話2または電話3に対して電話をかける（ステップ306）。

【0034】利用者20が不在の場合など、電話接続が

できない場合には、ステップ308からステップ338に進み、結果報告処理84から連絡を受けて、利用者情報入力75を経由して、自動電話問合せ装置制御処理72に対して、電話が接続できなかったことが報告される。この場合は、承認確認ができなかったとして、当該案件の処理をあきらめ案件破棄扱いとする。

【0035】電話の接続ができた場合、自動電話問合せ装置9に対してアナウンス指示74を行うと、自動電話問合せ装置9は、制御コマンド処理80のアナウンス機能82を使用して、自動音声によりクレジットカード会社名、利用者名、及び電話機の操作方法など、この電話の宛先と目的を説明し、受信機能83を使用して利用者からの電話操作待ちとなる（ステップ310）。

【0036】一定時間利用者が操作を行わなかった場合、例えば1分間電話のボタンを押さなかった場合は、電話に出たのは本人でなく、本人が電話に出られず、承認処理が行えないと判断して（ステップ312）、ステップ338に進み、当該案件を破棄し、電話が接続できなかった場合と同じ処理を行う。

【0037】また、電話の操作方法を間違った場合、例えば電話のボタンで4桁の暗証番号を入力し、最後に#と押すべきところ、最初に#を押してしまった場合は、それまでに電話により入力した情報を取り消して、アナウンスに戻る（ステップ314、316）。

【0038】本人識別情報である暗証番号の入力がされた場合、例えば電話のボタンを1234#と操作した場合は、受信機能83から結果報告処理84により、利用者情報入力75に対して暗証番号が連絡される（ステップ314）。この場合は、利用者本人が電話に出たと仮定して、電話から入力された本人識別情報である暗証番号と、データベース8の本人識別情報である暗証番号423とを比較して、電話に出た相手が本当に利用者本人であるか確認する（ステップ320）。本人識別情報である暗証番号が間違っている場合は、本人以外のものが不正に決済案件承認を行おうとしたと判断して、案件を破棄する（ステップ330）。正しい本人識別情報である暗証番号が入力された場合には、本人が電話を操作していると判断して、アナウンス指示74及びアナウンス機能82を使用して、自動音声により、決済案件の内容と承認するか非承認するのかの操作方法を伝え、受信機能83を動作させて入力待ちとなる（ステップ322）。

【0039】利用者は、電話機を操作することにより承認・非承認をクレジットカード決済サーバ6に連絡する。例えば、電話のボタンの0#を押すことにより、承認し、1#を押すことにより、非承認する。電話の自動音声により連絡された決済案件内容が不当な内容であった場合、電話機を操作して、非承認操作を行う。これらの操作情報は、受信機能83および結果報告処理84を介して利用者情報入力75により、案件承認・非承認処

理76に連絡され、これにより、不当な決済案件は破棄される(ステップ324, 330)。決済案件内容が正当であるならば、利用者は、電話機を操作して承認操作を行う。これにより案件は承認され(ステップ326, 332)、決済処理77により、カード決済(ステップ334)される。電話機の操作を間違えた場合は、それまでの操作内容をクリア(ステップ328)して、決済内容アナウンス(ステップ322)へ戻る。

【0040】決済案件の破棄(ステップ330)または承認(ステップ332, 334)が決まった後は、これで当該案件の処理が完了したので、決済結果報告処理78及びインターネット送信処理79を使用して、通信販売管理サーバ5の決済結果受信機能54に対して決済結果報告を行う(ステップ338)。

【0041】このようにして、クレジットカード決済処理サーバ6は、利用者に対して、あらかじめ登録してあった電話を使用して、利用者からの承認・非承認を確認することにより、決済要求案件の決済処理を行う。

【0042】なお、利用者はインターネットショッピングを行う際、予めクレジット会社に登録してある電話番号のうち複数の電話番号を指定できるようにしてもよい。図12は、利用者が2台の電話を指定した例である。図12の受注データテーブル11では、連絡先503が2の受注データと、連絡先503が1の受注データが登録されている。連絡先503以外の項目は同じである。これは、商品aについての決済確認を、はじめに連絡先2の電話にかけてもらい、もしその電話がつかないときには連絡先1の電話にかけてもらいたいことを示している。図13は、図12のような利用者の希望に対し、設定される案件テーブル7の内容を示す。連絡先533が2の案件データと、連絡先533が1の案件データが登録されており、連絡先533以外の項目は同じになっている。この案件テーブルのないように応じて、クレジットカード会社は、ステップ306の電話接続の処理において、先に連絡先2の電話に問合せの電話をかけ、それがつかないとき連絡先1の電話に電話をかけるようにする。

【0043】さらに、そのように指定した複数の電話のそれぞれに問合せを受ける時刻または時間帯を指定できるようにしてもよい。図14は、連絡先2の電話では2月1日の10:00から11:00に問合せ電話を受け、連絡先1の電話では2月1日の13:00から20:00に問合せ電話を受けたいという利用者の希望があったときの、受注データテーブル11の内容例である。図15は、それに応じて設定される案件テーブル7の内容例である。なお、1つの連絡先に対して、複数の問合せ可能時刻または時間帯を指定できるようにしてもよい。

【0044】以上のように、利用者は問合せを受けたい電話と時刻または時間帯を任意に指定できるので、自分

の都合に合わせて決済確認の電話を受けることができる。

【0045】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、安全性を確保しながら、インターネットショップ側の都合により、利用者に対する決済確認のための電話が発生する不便さを解決できる。また、利用者側の電話機は、電話を受けることができればよいので、本人識別情報を暗証番号とした場合には、通常のプッシュボタン式電話を用意すればよく、特別な用意は不要である。

【0046】また、利用者がインターネットショッピングを行う際、クレジットカード会社からの電話による認証問合せの発生する時刻または時間帯、および電話を任意に指定できるので、利用者側の都合のよいときに都合のよい電話で認証ができる。さらに、指定する時刻または時間帯を2つ以上指定できることにより、利用者の都合により電話に出れなかった場合でも、対応可能となる。さらに、時刻または時間帯指定を行うことで、自宅に1回線の電話回線しかなく、電話機とインターネットプロバイダとの接続兼用の場合でも、一旦インターネット上でインターネットショッピングを行い、指定時間後、たとえば5分後に、カード会社からの認証要求電話がかかってくるようにすれば、1本の電話回線だけでも本発明によるインターネットショッピングのクレジットカード決済を行うことが可能となる。

【0047】さらに、クレジットカード会社から電話をかけるため、クレジット会社側の電話回線が不足した場合であっても、多少予定時刻から遅れて電話がかかってくるだけであり、利用者側から電話をして話し中でつながらない場合よりは利用者へのストレスが少なくできる。

【0048】また、クレジットカード会社からの電話による認証問合せ時刻を、幅のある時間帯で指定できるようにすることにより、クレジット会社からの電話発信が混雑した場合でも、時間帯以内で電話すればよいという余裕が生まれるため、クレジット会社側ではピーク時に必要な電話回線を用意するのではなく、平均して電話による認証確認を行うのに必要な電話回線数を用意すればよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を適用したインターネットショッピングの構成を示すブロック図

【図2】通信販売サーバの機能ブロック図

【図3】クレジットカード決済処理サーバの決済要求受付処理の機能ブロック図

【図4】クレジットカード決済処理サーバの案件処理の機能ブロック図

【図5】自動電話問合せ装置の機能ブロック図

【図6】受注データテーブル図

【図7】利用者データテーブル図

【図8】案件テーブル図



【図9】通信販売サーバの処理の流れ図

【図10】クレジットカード決済処理サーバの決済要求受付処理の流れ図

【図11】クレジットカード決済処理サーバの案件処理の流れ図

【図12】連絡先が複数ある受注データテーブルの内容例を示す図

【図13】連絡先が複数ある案件テーブルの内容例を示す図

【図14】連絡先が複数ありそれぞれ時間帯が異なる受注データテーブルの内容例を示す図

【図15】連絡先が複数ありそれぞれ時間帯が異なる案件テーブルの内容例を示す図

【符号の説明】

1 コンピュータ

2 電話

3 電話

4 インターネットショッピングホームページサーバ

5 通信販売管理サーバ

6 クレジットカード決済処理サーバ

7 案件テーブル

8 データベース

9 自動電話問合せ装置

10 発信機能付き電話装置

11 受注データテーブル

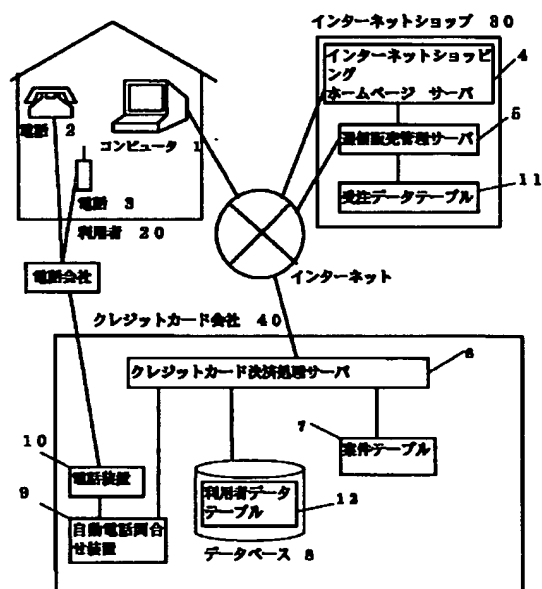
12 利用者データテーブル

20 利用者

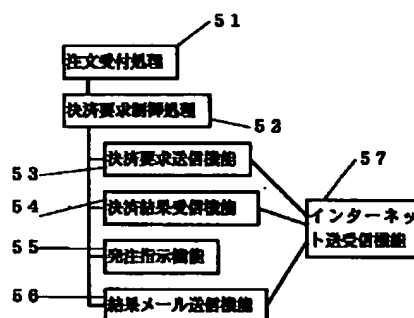
30 インターネットショップ

40 クレジットカード会社

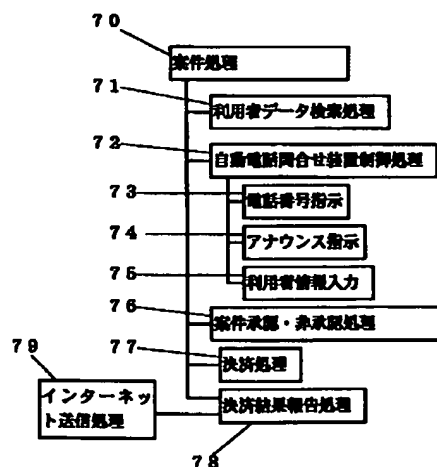
【図1】



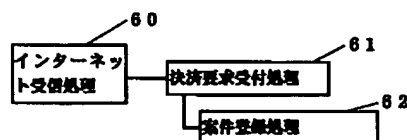
【図2】



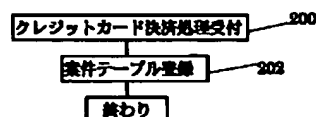
【図4】



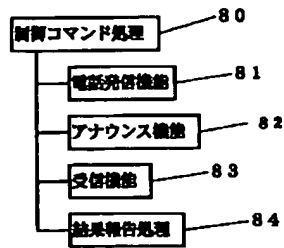
【図3】



【図10】



【図5】



【図6】

受注データテーブル 11

有効時刻	無効時刻	連絡先	カードNo	注文情報	J-STD以	送付先住所氏名
2/1 10:00	2/1 11:00	2	01234567	商品a 500円	1234...	神奈川県横浜市...
2/1 13:00	なし	1	89012345	商品b 1000円	4567...	東京都千代田区...

401 402 403 404 405 406 407

【図7】

利用者データテーブル 12

カードNo	電話番号		暗証番号
	1	2	
01234567	123-4567	123-8999	1234
89012345	890-1234	890-8999	5678

420 421 422 423

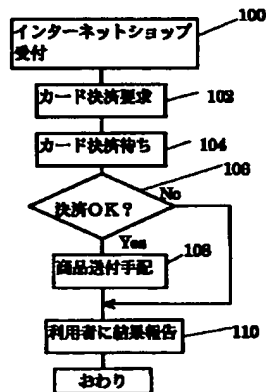
【図8】

案件テーブル 7

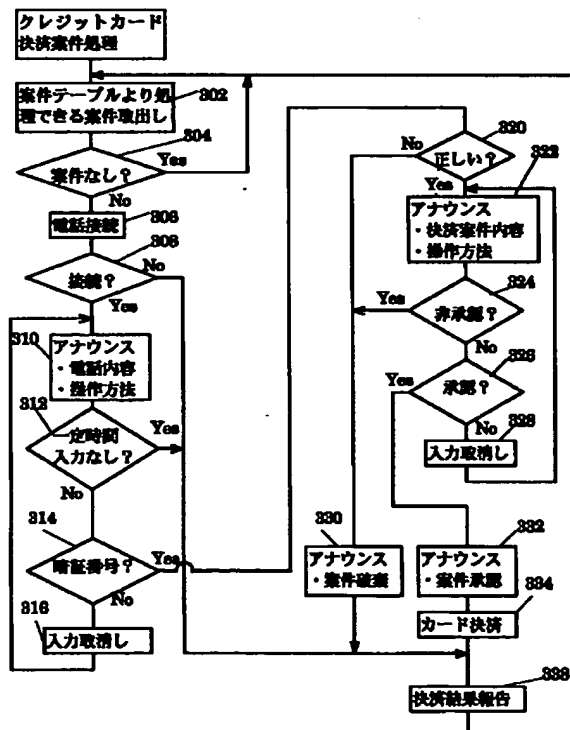
有効時刻	無効時刻	連絡先	カードNo	決済情報
2/1 10:00	2/1 11:00	2	01234567	店名 日付 商品a 500円
2/1 13:00	なし	1	89012345	店名 日付 商品b 1000円

431 432 433 434 435

【図9】



【図11】



【図12】

受注データテーブル 11

有効時刻	無効時刻	連絡先	カードNo	注文情報	カード以	送付先住所氏名
2/1 10:00	2/1 11:00	2	01234567	商品a 500円	123@---	神奈川県横浜市...
2/1 10:00	2/1 11:00	1	01234567	商品a 500円	123@---	神奈川県横浜市...

601   602   603   604   605   606   607

【図13】

案件テーブル 7

有効時刻	無効時刻	連絡先	カードNo	決済情報
2/1 10:00	2/1 11:00	2	01234567	店名 日付 商品a 500円
2/1 10:00	2/1 11:00	1	01234567	店名 日付 商品a 500円

531   532   533   534   535

【図14】

受注データテーブル 11

有効時刻	無効時刻	連絡先	カードNo	注文情報	カード以	送付先住所氏名
2/1 10:00	2/1 11:00	2	01234567	商品a 500円	123@---	神奈川県横浜市...
2/1 18:00	2/1 20:00	1	01234567	商品a 500円	123@---	神奈川県横浜市...

601   602   603   604   605   606   607

【図15】

案件テーブル 7

有効時刻	無効時刻	連絡先	カードNo	決済情報
2/1 10:00	2/1 11:00	2	01234567	店名 日付 商品a 500円
2/1 18:00	2/1 20:00	1	01234567	店名 日付 商品a 500円

631   632   633   634   635

フロントページの続き

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

G06F 17/60

H04M 11/00

識別記号

512

514

303

F I

G06F 17/60

H04M 11/00

テマコード(参考)

512

514

303